



- 1) 第48回 日本頭痛学会総会会長 松村明先生よりご寄稿
- 2) 第48回 日本頭痛学会総会開催のお知らせ
- 3) HMSJ 2020 web: Headache Master school Japan 2020 開催のお知らせ
- 4) 日本頭痛学会ホームページ URL 変更について
- 5) 日本頭痛学会認定指導医更新について
- 6) 頭痛研究トピックス～広報委員より最新の論文をご紹介します



1) 第48回日本頭痛学会総会会長 松村明先生よりご寄稿

『第48回日本頭痛学会総会の開催にあたって』



第48回日本頭痛学会総会の主題は「基礎から教育、臨床、社会まで」とさせていただき、新薬等の基礎研究から臨床研究、さらには臨床応用までを取り上げることとしました。また教育面では学部における頭痛教育の現状と課題をトピックとし、今後の頭痛診療の拡大と均霑化の問題を議論しようと考えておりました。さらにはJPAC や市民公開講座、鍼灸師のための頭痛セミナーなどを通して頭痛が広く社会で取り上げられるような企画を予定しておりました。

しかしながら今回の新型コロナ禍の影響により、大変残念ながら現地会場には限られた参加者、座長と演者のみおいでいただき、多くの会員には Web 視聴という形での参加とさせていただきました(*一部現地参加可)。

例年開催しておりました Headache academy for dentist, 教育セミナー, 市民公開講座などは大変残念ながら中止といたしました。また、今回特別に力を入れて企画しました鍼灸ハンズオン, 漢方診療ハンズオンなども残念ながら中止となってしまいました。

一方で海外特別講演の International Headache Society President の Messoud Ashina 先生, founding president of Taiwan Headache Society の Shuu-JiunWang 先生には大変なご理解とご尽力をいただき、遠隔での特別講演をお願いすることができました。

Ashina 先生には CGRP 等新薬に関する最新の知見についての講演に加えて、私自身が脳神経外科医であることから「外傷後頭痛」についても日頃の診療で直面することが多いため、Ashina 先生の豊富な臨床研究、

診療経験のご講演をお願いしましたので日常診療の参考になればと願っております。

Wang 先生には最新の画像モダリティを用いた頭痛診療・研究についての内容をお願いして特別講演をいただけることになっています。

また、その他のスポンサーシンポジウムも web 上で皆様に拝聴いただけることになりましたが、スポンサー側の制約もあり、リアルタイム配信のみの講演もございますので視聴に際しましてはご注意ください。

シンポジウムにつきましては11月8日(日)全日にわたって現地あるいはリモートで発表いただき、そちらをライブ配信する方式にて開催します。それぞれのトピックスについて各分野のエキスパートの先生の講演とホットな discussion が期待されます。

一般演題につきましてはスライドを用いた口頭発表を事前に作成していただき、通常は並列会場で聞けない部分もオンラインで時間に余裕をもってじっくりと聞いていただけるよう、視聴期間を2020年11月7日(土)~12月7日(月)と長めに設定いたしました。

また、一般演題の中から優秀な演題を選考して「大会優秀演題賞」を設けて表彰させていただくことを予定しておりますので、演者の先生方には多くの優れた発表動画を投稿していただけることを期待しております。

コロナ禍の中での手探りの運営となりますので色々と慣れないことも多く、不手際もあるかとは思いますが、このマイナスの状況をプラスに変えるべく工夫して開催したいと思っておりますので、会員の皆様のご理解、ご協力をいただければ大変幸甚でございます。

今回の大会が会員皆様にとって、有益なものだったなと振り返っていただけるよう、できる限り安全を確保するように開催していきたいと思っております。

どうぞよろしくご理解・ご協力のほど、お願い申し上げます。

*1. コロナ禍での学会開催となりますが、現在の状況を鑑みて人数限定で現地参加も募ります。年次総会事務局から参加希望の照会をいたしますので、現地参加ご希望の方はご返信いただければと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

*2. 札幌、神戸、福岡空港からは茨城空港直行便があり、空港からつくばまでの乗り合いタクシーなどもあります。また、成田空港からもつくばへの直行高速バス便もあります(所要時間は約 50-60 分)。いずれも3密のリスクを避けられるルートもございますので、詳しくはホームページをご覧ください。

第48回日本頭痛学会大会長

松村 明

2) 第 48 回日本頭痛学会総会開催のお知らせ

第 48 回日本頭痛学会総会 「頭痛学 基礎から教育, 臨床, 社会まで」

開催日: ライブ配信 2020 年 11 月 7 日(土)~11 月 8 日(日)

オンデマンド配信 2020 年 11 月 7 日(土)~12 月 7 日(月)

会場: つくば国際会議場

参加登録: 9 月 17 日(木)~11 月 30 日(月)

大会長: 松村 明 (茨城県立医療大学 学長)

ホームページ: <http://jhs48.umin.jp/index.html>

多くの先生方のご参加をお待ちしています。なお、ライブ配信のみの講演もありますのでご注意ください。

3) HMSJ2020WEB: Headache Master School Japan 2020 開催のお知らせ

今年度は今回が初の開催となりますが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い WEB 開催となりました。

2 日間の配信でどちらか 1 日をご都合に合わせてご視聴可能です。ぜひこの機会にご参加ください。受講申込みの詳細はホームページをご参照ください。

開催日: 2020 年 11 月 28 日(土)9 時 00 分~15 時 00 分(予定)

2020 年 11 月 29 日(日)9 時 00 分~15 時 00 分(予定)

参加受付: ~2020 年 10 月 29 日(土)締切

実行委員長: 辰元 宗人 (獨協医科大学病院 医療安全推進センター教授)

ホームページ: <http://hmsj2020-1.umin.jp/>

4) 日本頭痛学会ホームページ URL 変更について

2020 年 5 月より学会事務局が変更となり、それに伴い日本頭痛学会のホームページ URL が下記に変更となりました。移行時には大変ご不便をおかけしました。このたびの変更に伴う不具合がございましたら、お手数ですが <jhs-office@shunkosha.com> までご連絡ください。

・日本頭痛学会ホームページ新 URL: <https://www.jhsnet.net/>

5) 日本頭痛学会認定指導医更新について

日本頭痛学会認定指導医更新の時期となっています。該当される先生は、ホームページをご確認の上、

2020年10月20日(火)までにお手続きをお願いします。詳細は学会ホームページをご確認ください。

<https://www.jhsnet.net/pdf/sidouitebiki.pdf>

6) 頭痛研究トピックス～広報委員より最新の論文をご紹介します

- 頭痛治療薬と COVID-19 パンデミック

MaassenVanDenBrink A, et al. Headache medication and the COVID-19 pandemic. J Headache Pain 2020; 21:38.

- Visual snow syndrome 患者に認められる脳の構造的および機能的変化

Schankin CJ, et al. Structural and functional footprint of visual snow syndrome. Brain 2020; 143: 1106-1113.

掲載日:2020/5/14

- 薬剤の使用過多による頭痛に対する 3 つの治療法の比較

Carlsen LN, et al. Comparison of 3 Treatment Strategies for Medication Overuse Headache: A Randomized Clinical Trial. JAMA Neurol. 2020 May 26; e201179. doi: 10.1001/jamaneurol.2020.1179.

掲載日:2020/6/23

- 閉鎖性頭部外傷の重症化や繰り返す脳震盪がラットの頭部外傷モデルにおいて受傷後の頭痛様行動を増幅する

Bree D, et al. Increased severity of closed head injury or repetitive subconcussive head impacts enhances post-traumatic headache-like behaviors in a rat model

Cephalalgia 2020, DOI: 10.1177/0333102420937664

掲載日:2020/7/15

- 片頭痛患者身体活動の客観的計測

Rogers DG, et al. Objectively measured physical activity in migraine as a function of headache activity. Headache 2020 doi: 10.1111/head.13921

掲載日:2020/8/24

- Atogepant による片頭痛予防効果を検討した 2b/3 相臨床試験

Goadsby PJ, et al. Safety, tolerability, and efficacy of orally administered atogepant for

the prevention of episodic migraine in adults: a double-blind, randomized phase 2b/3 trial. Lancet Neurol 2020; 19: 727-737.

掲載日:2020/9/11

- 既存の予防薬での治療困難片頭痛症例に対する galcanezumab の効果と安全性

Mulleners WM, et al. Safety and efficacy of galcanezumab in patients for whom previous migraine preventive medication from two to four categories had failed (CONQUER): a multicentre, randomised, double-blind, placebo-controlled, phase 3b trial. Lancet Neurol 2020; 19: 814-825.

掲載日:2020/10/7

【日本頭痛学会 広報委員会】

ニュースレターに関するご意見, 問い合わせは <jhs-office@shunkosha.com> までお願いいたします.